

神奈川県立山北高等学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

会 議 名	令和5年度 神奈川県立山北高等学校 第3回学校運営協議会		
開 催 日 時	令和6年 3月 7日 (木) 14:30 ~ 16:00		
開 催 場 所	山北高等学校 A棟1階第1応接室		
出 席 者	別紙のとおり		
次回開催予定日	7月上旬		
問い合わせ先	山北高等学校 多田、小野寺 電話 0465-75-0828		
下 欄 に 掲 載 す る も の	・ 議事録 ・ 議事概要	議事概要とした 理由	
協議経過	<p>【次第4：協議】</p> <p>(1) 令和5年度学校評価報告書（実施結果）について（総務グループより） ※資料1</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習支援グループ <ul style="list-style-type: none"> ・主体的で深い学びの実現を目指し、授業づくりに注力してきた。職員全体の意識は高まりつつあるが、さらに組織的な取組となるよう促していきたい。 ・ICT機器を活用した授業展開において、そのメインは機器の使用自体ではなく「その活用を通していかに生徒の学習意欲を高めることができるか」と捉えている。 ○生徒支援グループ <ul style="list-style-type: none"> ・指導件数が増加傾向にあるが、トラブルを教育の機会と捉え、粘り強く生徒一人ひとりに向き合ってきた。今後も、規約の改訂等により、柔軟に生徒指導に取り組んでいきたい。 ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用、ケース会議の充実等により、増加傾向にある支援を要する生徒に対応していくとともに、引き続き、部活動を通して生徒の主体性を高めていきたい。 ○キャリア教育グループ <ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりのニーズに対応し、多様な進路選択をサポートしてきた。進学は、総合型選抜による受験が多くを占め、学力の向上だけでなく、理論的思考を高める指導が求められている。また、就職の多くは、地域の活用により進路実現を果たすことができた。 ・進路確定後の学校生活におけるモチベーション低下が課題である。 ○広報連携グループ <ul style="list-style-type: none"> ・地域人材の活用により、生徒たちの主体性が高められ、充実した学びとなった。地域魅力化型にふさわしいカリキュラムを推進し、山北町との連携を深めていきたい。 ○学校管理 <ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革の視点から学校行事の在り方を見直し、改善を図ることができた。引き続き、業務の効率化に有用なマニュアル作成に取り組んでいきたい。 <p>(2) 第2回書面開催の結果報告（総務グループより） ※資料2</p> <ul style="list-style-type: none"> ○意見 <ul style="list-style-type: none"> ・学校と近隣地域、さらにその枠を超えた自治体や一般企業とのつながりを構築してほしい。新たな連携の中で、気づきや発見があり、活動に有用なヒントを得ることが期待できる。 ・山北町の施設や産業、農作物を活用したアイデアによる事業は実現の可能性が高い。 		

	<p>○感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒たちが地域の課題を自分事として捉え、主体的に取り組み、その研究成果を発信している姿に感心した。伝えるための工夫等、年々、プレゼン力がブラッシュアップされていると感じる。 ・生徒、地域、発表の聞き手、この発表会に携わる皆にとって実りのある活動であると評価する。 <p>(3) 創立 80 周年記念式典の振り返りについて (総務グループより)</p> <p>※資料 3</p> <p>○前回 (70 周年時) との比較において評価され、次回 (90 周年時) に引き継いでもらいたいことは次の 3 点である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校、PTA、同窓会の協働により運営された事業であったこと。 ・生徒たちにとって活躍の機会となったこと。 ・構成や記念品を含め、生徒たちの記憶に残る内容であったこと。 <p>(4) 体育館総合老朽対策工事に係る意見等について (副校長より)</p> <p>※資料 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「1 年以上、使用不可となること」、「体育の授業成立が困難であること」、「災害等、有事の際の懸念」を前提に申し入れをした。 ・県より「狭さの問題は他校と共通である」との回答であったが、地域の特性や現場の声、数値に基づいた状況を県へ発信し続け、どこかのタイミングで再度、要望する。 <p>(5) 委員から意見聴取</p> <p>○関係行政機関の職員より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校と町の連携事業に若者らしい発想が活かされている。町長や議員からの関心も高い。 <p>○関係行政機関の職員より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「山北町の課題解決」となると、人口減少への対策等が挙げられるが、高校生は全く異なる視点から「課題」を捉え、地域に根差して取組を進めている点に若々しさが感じられる。 <p>○地域住民より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校と町の協働により、さらに地域防災への取組を活性化していきたい。 <p>○学識経験者より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記念式典、町の報告会、共に生徒たちの聞く態度に感心した。 ・式典の様子を映像で 90 周年に向けて残してほしい。 ・「体育館が避難所としてどのように使われてきたのか」、また「今後どのように使うのか」、「状況の数値化」、などの具体的な情報を県に提示することが有効である。
<p>会 議 資 料</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和 5 年度学校評価報告書 2. 第 2 回書面開催の結果報告 3. 創立 80 周年記念式典の振り返り 4. 学校運営協議会臨時分科会実施の結果